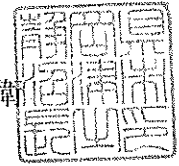


沼 建 第 3 2 号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 様

沼津市長 斎藤 衛



今後の道路行政について意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお取り計らいくださいようお願いいたします。

沼津市建設部建設企画室
TEL 055 - 934 - 2563
FAX 055 - 932 - 5871

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

静岡県沼津市

- ・ 道路は国民の生活に密着するものであり、道路行政には、着実な継続性が必要である。
- ・ 地方にとって必要な道路は依然として多く残っており、その整備に必要な財源の安定的な確保は重要な課題であるため、諸制度の拡充を強く求める。
- ・ これまでは機能性を重視して全国画一的な道路整備が行われてきたが、今後は地域の実情にあった道路整備を望む。具体的には、構造令等の柔軟な運用（1.5車線の道路整備、都市部におけるボトルネック箇所の解消等）や量から質への変更（歩行者、バリアフリー、少子高齢化、景観、環境負荷の軽減等に配慮）を進めていくべきである。
- ・ 広域幹線道路整備では、渋滞の解消、所要時間の短縮及び災害時にも活用できるなどの事業効果が早期に発現されるバイパス整備の実施をお願いしたい。

当市の北部地区では、国道1号や国道246号、国道414号などの主要幹線道路が輻輳している。特に国道1号の交通量は県内最多となっており慢性的な渋滞や事故、更には、排気ガス等による環境問題が発生している。このため国道1号ばかりでなく周辺道路の機能も損なわれ、通過車両はもとより地域の市民生活や産業・経済活動にも悪影響を及ぼしている。こうした現状を解消するため国土交通省において、国道1号のバイパス機能を果たす東駿河湾環状道路の事業が進められているが、未着手である岡宮インターチェンジから沼津市原までの西区間7.8kmについても早期に事業化されるよう要望する。

- ・ 複数の市町をまたぐ道路の整備においては、それぞれの市町が整備するのではなく負担金徴収などにより国や県が一括して整備することで期間の短縮や経費の削減を図ることができるので検討願いたい。
- ・ コンパクトシティー化による中心市街地活性化のための、路肩への駐車・駐輪スペース設置などの施策への支援制度の拡充を願いたい。
- ・ 市町村管理の道路の維持管理に対する支援の拡充を願いたい。
- ・ 自転車と歩行者の事故防止、環境負荷の軽減及び健康増進のため自転車利用促進事業への支援制度の拡充を願いたい。
- ・ 道路の新設や拡幅が同時に実施される鉄道高架事業を初めとする沼津駅周辺総合整備事業への支援の拡充・安定的継続を願いたい。

○ 現状

・本市は、東名高速道路のインターチェンジや国道1号、国道246号、国道414号など、東駿河湾広域都市圏の広域幹線道路の結節点である。

現在、第二東名自動車道や伊豆縦貫自動車道など新たな高規格幹線道路の整備が進められている。

・沼津駅周辺の中心市街地が線路で分断され、人や物の円滑な移動に支障をきたしている。

○ 課題

・本市は東部地域の中核都市にふさわしい交流拠点の形成が求められている。

・この都市基盤の交通を担う、本市の都市計画道路は第二東名や東駿河湾環状道路の自動車専用道路を含む62路線、総延長約148kmであるが、改良率は35.9%と低い状況である。

・国道1号や国道414号等の地区内幹線道路においては、通過交通量の増加による慢性的な交通渋滞が発生している。

この課題の解消のために、早期の交通ネットワークの形成が求められている。

・中心市街地が線路により分断され、幹線道路の拡幅や新設に支障をきたしているため、鉄道高架事業等の早期完成が必要不可欠である。

②—2地域の目指すべき将来像

静岡県沼津市

- ・静岡県東部地域の中核都市にふさわしい交流拠点の形成
「人が輝き、まちが躍動する交流拠点都市・沼津」

住む人が住む喜びと誇りを抱き、訪れる人が安らぎと親しみを感じて共に輝くまち。

沼津市及び周辺地域の歴史と風土、生活文化と産業や都市基盤に根ざした有形無形の資源を活用し、この地域ならではの物や情報を創造するまち。

沼津市は、国際的に知られた富士山と駿河湾、箱根と伊豆半島を擁する静岡県東部地域の要のまちとして、新しい時代の人・物・情報の交流拠点を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

静岡県沼津市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
人が集まるまち	広域交通網と拠点地区の整備 ・ 広域幹線道路の整備 ・ 沼津港の整備 ・ 鉄道高架化の推進 ・ 交通機関の連携強化 ・ 東名及び第二東名インターチェンジ周辺の整備	人や物が円滑に往来できる交流拠点としての機能充実	別紙 1 重点目標（案）の該当項目 活力分野 （2）地域活力の向上 （3）都市交通の快適性、利便性の向上
快適で安心な住みよいまち	生活道路の整備 ・ 地域内道路の整備 ・ 歩行者や自転車に配慮した道づくり 交通安全の推進 ・ 交通安全施設の整備 災害に強いまちづくり ・ 自身防災対策の強化	ひとにやさしい道づくり 安全で快適な交通環境づくり 防災機能の充実	暮らし・環境分野 （8）少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 安全分野 （4）大規模な地震、火災に強い国土づくり